

小規模企業景気動向調査

[平成29年9月期調査]

～7ヶ月連続の改善基調から、わずかな悪化に転じた小規模企業景況～

2017年10月31日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…7ヶ月連続の改善基調から、わずかな悪化に転じた小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、採算DI、資金繰りDIはわずかに悪化し、売上額DIは不変であった。製造業では全項目で改善が見られた一方、小売業では全項目が悪化した。また、業況DIをみると、建設業と小売業がわずかな悪化、サービス業は小幅悪化と、製造業以外が軒並み悪化した。経営指導員からは、製造業は好調である一方で、小売業・サービス業の悪化を指摘する報告があった。

<製造業> ◇…自動車部品製造業で堅調な動きを見せるも、繊維や食品関連は利益確保が難しい製造業…◇

製造業の業況DIと採算DIは先月と比べ小幅に改善し、売上額DIと資金繰りDIはわずかに改善した。先月に引き続き、自動車部品製造業は堅調。材料費高騰も価格転嫁できているとの報告がある一方で、紡績業、織物業では原料価格高騰の煽りを受け経営の圧迫を受けていることや、食品関連では仕入価格の高騰により利益確保が厳しいとの報告があった。

<建設業> ◇…発注量は増えてきているが、人材確保難と人件費高騰により利益確保が難しい建設業…◇

建設業の売上額DIはわずかに改善したが、採算DIは先月とほぼ不変。業況DIはわずかに悪化し、資金繰りDIは先月と一変、小幅な悪化となった。公共工事、民間工事を問わず発注量は堅調であり、総合工事業よりも職別工事業、設備工事業が好調との報告があった。一方、発注量が増えてきても、人材確保が難しいことや、受注しても請負単価と人件費のバランスがとれず利益の確保が難しくなっているとの報告があった。

<小売業> ◇…季節需要により若干動きのあるものの、衣料品・食品小売店の経営状況は厳しい小売業…◇

小売業は全項目も悪化。悪化幅は売上額DI、資金繰りDI、業況DIはわずかであったが、採算DIは小幅な悪化を示した。運動会や敬老の日などの季節需要により小売業で若干動きがみられるものの、天候不順により薬物野菜をはじめとして生鮮食料品の価格が高騰し、消費者に買い控えの傾向もみられているとの報告があった。また衣料品が不調であるとのコメントが引き続き多くあるなど、経営状況は依然大変厳しいとの報告があった。

<サービス業> ◇…旅館関連業が好調との地域がある一方で、洗濯業や運送業では採算が悪化するサービス業…◇

サービス業の業況DIと採算DIは小幅に悪化、売上額DIがわずかに悪化し、資金繰りDIは先月に引き続き不変であった。経営指導員からは、地方によって紅葉のシーズンとなり、旅館関連のサービス業では好調との報告がある一方で、洗濯業では原油価格の変動の煽りを受け、有機溶剤の価格が上昇して採算が悪化しているとのコメントが寄せられた。また、運送業では、長距離便の人手不足が深刻化し多忙であるが、取引業者や他社との競合により、運賃の値上げもできないとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 12.8	▲ 12.4	0.4	▲ 7.9	▲ 6.2	1.7	▲ 5.0	▲ 3.3	1.7
採算	▲ 13.7	▲ 14.2	▲ 0.5	▲ 13.6	▲ 10.4	3.2	▲ 10.3	▲ 10.2	0.1
資金繰り	▲ 9.4	▲ 10.4	▲ 1.0	▲ 9.6	▲ 8.9	0.7	▲ 4.7	▲ 8.5	▲ 3.8
業況	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 0.5	▲ 11.6	▲ 9.6	2.0	▲ 6.1	▲ 6.7	▲ 0.6

業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 24.0	▲ 25.4	▲ 1.4	▲ 14.0	▲ 14.6	▲ 0.6
採算	▲ 20.4	▲ 23.1	▲ 2.7	▲ 10.5	▲ 13.2	▲ 2.7
資金繰り	▲ 15.6	▲ 16.6	▲ 1.0	▲ 7.6	▲ 7.4	0.2
業況	▲ 24.2	▲ 25.3	▲ 1.1	▲ 13.4	▲ 16.0	▲ 2.6

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(9月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・夏の繁忙期が終わったため比較的観光客も少なく、一段落ついた状況にある。地域全体としては例年と比較しても客数や売上の大きな変化はないが夏期の支払や修繕などでの借入の問い合わせは前年比で大きく増えており、資金需要は旺盛である。

金融機関の貸出態度は事業者の旺盛な資金需要に応える形で積極的に展開しており、200万前後の運転資金の件数が前年比で大きく伸びている。

(千葉県南房総市内房商工会)

・製造業に関しては、仕事量は増えてきている。前向きな投資も少しずつ出てきているが、まだ少ないため、金融機関はそういった先には破格の条件を提示してきている。

(静岡県新居町商工会)

小売、飲食、美容業については、今年、気候条件が例年と異なり多雨、低気温であったことから消費者の季節感の変遷の前倒しが見受けられる。

(愛知県幸田町商工会)

・九州北部豪雨災害復興に関連する業種の仕事量が増加傾向にある。小売業も若干であるが売上増加傾向が見られる。

(福岡県筑前町商工会)

・創業塾の参加者も多く、開業資金の需要もある。地域の身の回り小売店は衰退の一途だが、製造、建設業などは現状維持の状態である。

(滋賀県愛荘町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・冷夏・長雨の影響か、関連業種は若干の不景気感が出ており、消費も少し落ち込みぎみである。

(栃木県小山市美田商工会)

・人手不足感は全業種に渡って広がってきている。また、求人が集まっても求める技量などに達しないなどミスマッチも多い。

(福岡県香春町商工会)

・全体的に前年比横這いか、やや減少の売上推移と見込まれる。資金需要は弱含みの感があるが、金融機関は業況の良好な先を探し借入に導入する動きが見受けられる。

(山形県もがみ北部商工会)

・一部の製造業を除き、軒並み景気は悪い。特に小売・サービス業の悪化が顕著であり、買い控えや必要最低限の利用にとどめるなどの傾向が見られる。一方で自動車や半導体関係の製造業は納期が間に合わずフル稼働で対応するなど好調を維持している。金融機関の貸出姿勢は積極的であることは変わらないが、貸出先の選別は厳格になってきているように感じている。

(福岡県鞍手町商工会)

・地域全体の景気は相変わらず回復の兆しが見えない。地区内消費の縮小と流出により小売業を中心に売上は下降が続いている。金融機関の貸出に積極的であるが資金需要が少ない。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

・宿泊業や飲食業は前月同様に観光客の減少により前年同月比で売上が減少したところが多かった。また小売業やサービス業についても売上減少が続いている。一方で建設業等は前年並みの受注を確保できている。

(新潟県妙高高原商工会)

・景気は緩やかな回復基調と言われているが、消費動向は鈍く、一部で改善の動きがあるものの総じて横ばい傾向にある。建設業、製造業は堅調に推移しているが、材料費の上昇などで収益に反映していない企業もみられる。

(香川県さぬき市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・金属製品の製造業では、引き合いは安定しており、売上も増加傾向が見られる。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・和菓子関連の製造業は、固定客のリピーターにより売上安定。よりいいものを作るため仕入先見直しも検討している。電子部品関連の製造業は、残業が増えてきており、景況は上向きと思われる。

(兵庫県太子町商工会)

・金属加工関連の製造業は受注が増え採算が向上した。

(埼玉県加須市商工会)

・自動車部品製造関連企業は堅調。材料費値上げも価格転嫁出来ている。地域の主力製造業である漆器製造はやや低調。

(石川県山中商工会)

・「食料品」・・・京都市内は外国人観光客で賑わっているが、地元の消費は縮小傾向である。歳暮や中元は激減だが、手軽なプレゼントとしての需要は増加傾向。

「繊維工業」・・・受注量は比較的安定して受注できている。工場によっては、来年1月まで確保しているところもある。受注単価は相変わらず低調である。短納期のものあまりない。

「機械・金属」・・・受注量増加傾向である。鋼材仕入価格は同じくらいで採算は好転している。今のところ順調に推移しているがこの先の予測は難しいと感じている。

(京都府京丹後市商工会)

・地場産業の障子紙は、年末に向けて追い込みの状況となっている

(山梨県市川三郷町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・繊維関連の製造業は、倒産、廃業により関連事業所も連鎖している為、厳しい状況が続いている。
(愛知県愛西市商工会)
- ・食品品製造業は夏の長雨の影響で、仕入単価が上昇し収益はやや悪化傾向。
- ・繊維製造業は冷夏の影響で、秋物衣料が先行され夏物が在庫化される。
- ・機械・金属製造業は不変。
(栃木県那須町商工会)
- ・繊維関係の製造業は比較的好調であった昨年の反動が長引き受注量が低調。ウール、綿、ポリエステル等の原材料が高騰しており経営を圧迫している。
(鳥取県鳥取市西商工会)
- ・機械部品製造活動はやや伸びているところもあるが、全体としては売り上げの減少が多くみられ、大きな伸びへの期待感は薄く、先行き感を悪化を懸念するところが多い。小規模事業者の2割程度が人材不足を感じている。金融機関の貸し出し量は引き続き増加傾向を見る。機械等への設備投資の兆しが少しだがみられる
(兵庫県川西市商工会)
- ・食品関連の製造業は、仕入れ価格の高騰が原因のため、売上原価が高くなり、利益確保が厳しい状況になっている。
(岐阜県高山西商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・今年度は早くから土木関係は官庁関係の仕事もあり、また建築関係は、個人からの発注もあり順調のようである。
(三重県度会町商工会)
- ・住宅関連の建設業は、山形市内を中心に新築、リフォームと併せ需要が堅調で、付随する塗装、配管、内外装業者が非常に忙しい状況が散見される。
(山形県上山市商工会)
- ・人手不足に加えて、九州北部豪雨や熊本の震災などの影響から受注量は増加傾向にあり、営業職や経営陣までが現場での作業に追われている状況が見受けられる。
(福岡県香春町商工会)
- ・建設業では、店舗の出店等で電気工事等受注が増えている事業所もある。また、持続化補助金を活用した販路開拓が実を結んで受注増加につながっている事業所もある。
(香川県高松市中央商工会)
- ・建設業は、鳥取県中部地震からの復興に係る震災特需が継続しており、売上高は昨年対比で増加している。人手不足が慢性化している。
(鳥取県中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・住宅関連の建設業は一部で復興関連の売上減少がみられる一方、雨の影響で工期に影響が出てきている事業所で資金繰りが厳しき業者も出てきている。
(宮城県本吉唐桑商工会)
- ・建築業は住宅会社との専属が増えてきた。ハウスメーカーとの競合により地元建築業者はリフォームが多いが、リフォーム需要も先行きの不安感からか期待したほど増えていない。
(静岡県吉田町商工会)
- ・人材の高齢化と求人難により職人自体が減少傾向で、現場作業を業とする会社には仕事が集中する売り手市場となっている。受注単価も言い値のケースもある。
(石川県鶴来商工会)
- ・住宅関連の建設業は、業界動向は厳しいものの、業者の減少により工事の受注はある。一方で外注費がかさみ採算がとれていない状況。また、人手不足の影響も出ている。
(岡山県作州津山商工会)
- ・材料単価の上昇と従業員の確保難と請負単価が上昇しない。専門技術職不足に伴う人件費高騰で利益はあまり出ない。
(富山県射水市商工会)
- ・戸建住宅関連の建設業は、ネットによる問合せ、発注により契約単価が減少しているため、利益の確保が難しくなっている。
(東京都福生市商工会)
- ・設備工事関連の建設業では、一般的に工事量の減少が見られ昨年と比べると売上の減少が見られる。
(鳥取県米子日吉津商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

- ・メガネ関連の小売業は、店舗改修のセールを行った影響で、売上は前年対比増。飲食関連の小売業は、店舗売上落ち込んでいるものの、弁当の引き合いが増えているため、宅配の委託を計画。
(兵庫県太子町商工会)
- ・気候条件が例年と異なり多雨、低気温であったことから消費者の季節感の変遷の前倒しが見受けられる。
(愛知県幸田町商工会)
- ・9月の後半くらいから保育園や小学校の運動会の開催があり、食品品の消費に動きがあった。
(山梨県市川三郷町商工会)
- ・衣料品関連の小売業は、秋物衣料の動きが少しあった。敬老の日に合わせてイベントを行い、高齢者にターゲットを絞った企画を行った。
食料品関連の小売業は、9月期においては例年並みの水準で動いている。
耐久消費財関連の小売業は、昨年はリコールの為販売数が激減したため今年度は平年並みに戻った。また、モーターショーなど活発になっており、業界は好調に推移している。
(鳥取県中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

・野菜をはじめとする生鮮関係が天候不順により高騰しており、売価に反映すると売上が伸び悩み全般的に悪化傾向。

(栃木県那須町商工会)

・来店数の減少及び客単価の減少により利益を圧迫、コスト減による採算性確保を図る事業者が多い。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・衣料品の小売は夏場は好調でしたが、秋物の販売が急激な冷え込みにより奮わず、9月期は非常に厳しい状況にあります。

食料品小売は前年比で増加していますが、これは長雨等で外出を控える人が多く、保存のきく食料品の販売が好調だったことが要因と思われる。

(千葉県南房総市内房商工会)

・台風の影響があり農水産品は入荷が減少し、高値で推移し、買い控えの傾向がある。急激な気候の変化により秋物衣料に動きが見られたが、消費者の節約志向は根強い。

(香川県さぬき市商工会)

・石油関連小売業については低マージンがさらに悪化し、コンプライアンスの順守などの縛りで必要経費が増加し今後の予測難しいとのこと。

(京都府京北商工会)

・飲食関連の小売業は、天候不順により客足が遠のき、店舗の活気を失っている。

(東京都福生市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・地域資源を活用した飲食関連のサービス業は、近くの市街地からの顧客が増加したため、昨年より売上増の状態が続いている。

(鹿児島県日置市商工会)

・旅館関連のサービス業は観光需要の高まりを受け好調。会員の中には、民泊事業の売上(月次)が本業よりも大きくなった事業所も確認できた。

(沖縄県南城市商工会)

・洗濯業については間もなく衣替えの季節になり売上が見込まれる。

(福島県会津美里町商工会)

・町内外、近隣を含めて公共事業がある程度安定発注されており、業者による宿泊客が一定数あり宿泊業は比較的安定。

(北海道小平町商工会)

・理美容関連のサービス業は、季節の変わり目のため、やや上向いている。

(青森県南部町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・洗濯関連のサービス業は、原油の変動の煽りを受け、材料となる石油系ドライ溶剤についても値上がっており、採算は取りにくい状況にある。

(愛媛県長浜町商工会)

・宿泊業はもともと9月は閑散期だが、昨年よりもさらに入り込みが少ない事業所が多かった。観光関連業種も同様の傾向。一方、理美容業は昨年並みである。

(新潟県妙高高原商工会)

・観光、飲食関係では秋のシルバーウィークの悪天候による影響を受けて期待した売り上げが得られなかったこと今年は夏から天候に左右されやすい年であるということ

(石川県宝達志水町商工会)

・飲食業関連のサービス業は、時給高騰のため、人件費の増加が懸念される。また、人手不足のため、パート・アルバイトの確保が難しい。

(長野県長野市商工会)

・旅館関連のサービス業は、大学野球の大会の会場変更と台風の影響により、合宿が減少し、売上がかなり落ち込んだ。

洗濯関連のサービス業は、クールビズの影響でスーツ需要は激減している。加えて、洗濯機や衣料品の進化により夏物需要が減少傾向にある。

理・美容関連のサービス業は、年配の顧客(店主と同世代以上)が多く、人口の推移と売上高の推移はほぼ同じ

(岡山県作州津山商工会)

・旅館業では、外国人観光客のキャンセルが多く、売上は減少傾向である。旅行会社の企画で部屋を抑えている形なので、企画に人数が集まらないことが一因でもある。

(香川県高松市中央商工会)

・サービス業も小売業と並んで業況は悪い。サービス業のうち、自動車整備も台数が少なく、且つ、修理等にも値引きを迫るなど非常に悪い傾向にある。その他のサービス業も件数、単価とも減少傾向にあり、景気は悪化している。

(福岡県鞍手町商工会)

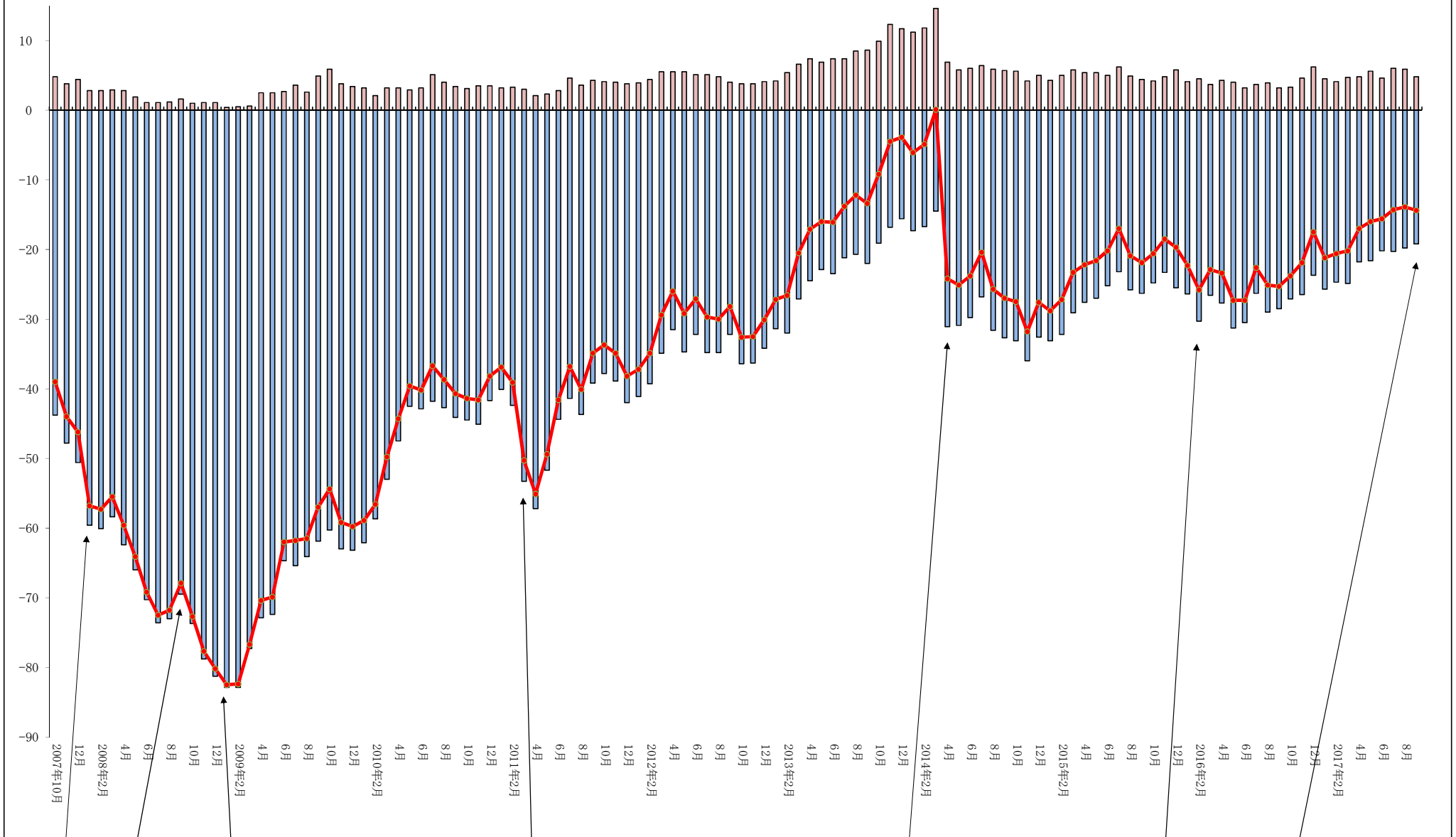
・運送業は、経費の増加と特に長距離便の人手不足で多忙だが厳しい状況にある。取引業者や他社との関係で、運賃の値上げもできない状況である。

(香川県さぬき市商工会)

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年1月2日
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス金利導入

17年/9月
-14.4